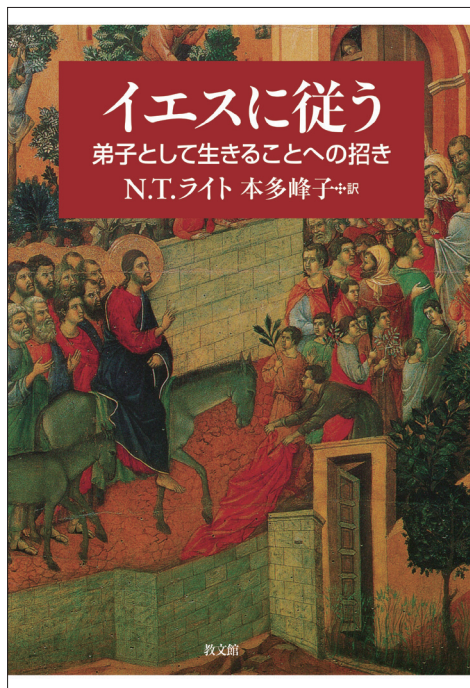




イエスに従う

弟子として生きることへの招き

N.T.ライト❖著 本多峰子❖訳



「わたしについて来たい者は、自分を捨て、
自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」

私たちはイエスを歴史的に探求することに熱心であっても、そのイエスに従おうとしているだろうか？ イエスの弟子として生きるとはどういうことなのか？ 新約聖書学の第一人者が、新約聖書の各書からイエスの弟子の聖書的モデルを指し示した、待望の説教集。

第I部 イエスを見つめながら	第II部 生きた犠牲
第1章 最終的犠牲——ヘブライ人への手紙	第7章 死者を復活させる神
第2章 戦いの勝利者——コロサイの信徒への手紙	第8章 新たにされる心
第3章 人の子の王国——マタイによる福音書	第9章 誘惑
第4章 神の栄光——ヨハネによる福音書	第10章 地獄
第5章 神の僕なる王——マルコによる福音書	第11章 天国と力
第6章 新たに生まれた世界——ヨハネの黙示録	第12章 新しい命-新しい世界

❖著者 N.T. ライト (1948-) セント・アンドリュース大学教授、ウィクリフ・ホール(オックスフォード)上席研究員。著書 『新約聖書と神の民』(新教出版社)、『N.T. ライト新約聖書講解』『悪と神の正義』(以上、教文館)など多数。

❖訳者 本多峰子 二松学舎大学教授。訳書 S. T. デイヴィス編『神は悪の問題に答えられるか』(教文館)など。

四六判・並製・200頁・定価2,310円(本体2,100円+税) ISBN978-4-7642-6763-3 C3016